

# （仮称）あぶた保育所複合施設の建設に関するお知らせ【第 1 号】



現在、町では（仮称）あぶた保育所複合施設の建設に向けた取り組みを進めています。

町民の皆さんと今後の予定を共有し、共通認識のもとで建設を進めるために、進捗状況をお知らせいたします。

町民の皆様におかれましては、建設の取り組みに対するご理解とご協力をお願いします。

## 1. 進捗状況について（令和 5 年 7 月末現在）

| 年 度                 | 取 組 内 容                                                                                                                                        |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和元年度<br>(2019 年)   | 本町保育所と入江保育所の統合移築（（仮称）あぶた保育所の建設）を検討し、虻田小学校の空き教室等を活用した統合移築を予定。                                                                                   |
| 令和 2 年度<br>(2020 年) | 国における少人数学級の実現に向けた動きがあり、虻田小学校の空き教室等を利用することが難しくなったため、「みんなの森公園付近」を統合移築先の候補地として選定。                                                                 |
| 令和 3 年度<br>(2021 年) | 建設に向けて施設内の配置等を検討し、基本計画を取りまとめた。                                                                                                                 |
| 令和 4 年度<br>(2022 年) | ・ 洞爺湖町公共施設等総合管理計画の改訂をふまえ、保育所機能と他の機能を加えた複合施設を目指すことになり、庁内検討会（役場内の検討会）を設置し、計 4 回会議を開催。<br>・ 町民向け説明会を開催。（令和 5 年 3 月 22 日）<br>※資料・会議録は町 HP に掲載しています |
| 令和 5 年度<br>(2023 年) | ・ 保育所保護者説明会を開催。（令和 5 年 4 月、各保育所の保護者総会にて）<br>・ 本町 5 区自治会説明会を開催。（令和 5 年 5 月 25 日）                                                                |

## 2. 複合する機能・施設について（複合化の内容）

庁内検討会やこれまでの町民の意見等をふまえ、『保育所機能に加えて、就学前の子どもたちと保護者等が自由に集い、気軽に交流することで子育てへの孤立感や負担感を緩和できる場を想定した「子育て支援センター」及び「子育てサロン」などの機能を含めた複合施設』とすることにしました。

### 複合施設や複合する機能について出された意見（要約）

- ・ 雨が降っても遊べる場所、友達同士や親子で遊べる場所がほしい
- ・ 多目的室（読み聞かせ、セミナー、レク等ができる広々とした空間）がほしい
- ・ 託児が出来て、ゆっくり相談できる場所がほしい
- ・ 飲食スペースや自販機を設置してほしい
- ・ 学童保育は、虻田小学校内か新しい施設で運営してほしい
- ・ あまり面積を大きくせず、既存施設の有効活用をしてほしい
- ・ 複合化（複合施設）はやめたほうが良い
- ・ 集会所のスペースを作してほしい



### 3. なぜ複合化（複合施設）が必要なのか

- 現在、町内に点在している「子ども・子育て関連の施設」を、保育所機能と複合化することにより、子育てへの孤立感や負担感を緩和し、子育てがしやすい環境を少しでも取り除くことが期待でき、子育て世代の定住と若い世代の転出抑制につながる。
- 就学前の子どもたちが、生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期を過ごし、安心して利用できる場所を提供するため。
- 「子どもたちが遊ぶ場・ふれあう場」を集約し、保育所機能と複合（隣接）させることにより、保護者同士や地域住民との交流を生み出す場を提供できる。
- 町内の公共施設の老朽化が進んでおり、人口減少や財政状況を考えると、すべての施設を維持・修繕していくことは現実的ではない。未来を担う子どもたちへの負担を減らすために、「集約化・複合化」、「廃止・統廃合」を進め、公共施設の適正配置を図る。

### 4. 地域交流センターについて

#### ① 解体について

地域交流センターは築 44 年（昭和 54 年建築）で、耐用年数を 3 年経過しており、老朽化が進んでいます。この施設を解体せずに今後、40 年、50 年と使用する場合は建替えが必要となり、また、この施設を残すと保育所を建設する位置が限定され、どちらも利用しやすい建物配置となってしまうため、解体は必要と考えています。

#### ② 地域交流センターを利用している団体について

上記の理由により解体する必要があるため、現在、地域交流センターを利用している団体等については、移転先を含めて調整中です。

【対象団体】本町 5 区自治会、高齢者事業団、学童保育、地域食堂、各種サークル

### 5. 今後の主な予定

| 年 度           | 取 組 内 容            |
|---------------|--------------------|
| 令和 5 年度（8 月～） | 基本設計の入札契約、業務施行     |
| 令和 6 年度       | 実施設計、地域交流センター解体    |
| 令和 7・8 年度     | 建設工事               |
| 令和 9 年度       | （仮称）あぶた保育所複合施設供用開始 |



#### 【作成】

洞爺湖町教育委員会管理課

保育・庶務グループ

TEL：0142-74-3009